

塚本産業(株)

美濃加茂市・土木・舗装工事業

平成26年度
認定

建設業

残業を減らすとともに、年休が取得しやすい職場づくりを進める。また、結婚記念日に食事手当を支給したり、家族参加型の交流イベントを開催するなど、家族との時間も大切にできるように努めている。

従業員数/男性25名 女性4名 計29名 ※平成31年1月1日現在

働き方をルール化 業務効率向上



経営発表会などの社内行事で社員とのつながりや交流を深める。

駐車場の舗装など外観工事が手がかかるため、天候や時期により仕事量が左右されやすい状況を逆手に取り、始業・就業時間の繰り上げや繰り下げの制度化など就業規則を「新」した。

次に取り組んだのは、働き方の「ルール化」。残業が常態化していたが、やむを得ない場合を除き、残業ゼロとすることを決め、その代わりに現場手当を支給することで、業務の効率化とモチベーションの維持を図った。年間カレンダーも導入し、計画的に有給休暇を取得できるようにした。

「以前は休みの見通しが立たず、不満が多かった。休暇を取得しやすい仕組みを作り、社員の意識も変化してきた」と塚本雄一郎社長は振り返る。

業務体制の見直しも進め、現在、数人がチームを組んで作業しているが、少ない人数でもできるように

検討。「家族の病院通いのため、休む必要がある社員がいて、有給休暇を気軽に取得できる環境づくりを痛感した。同時に複数人が休んでもカバーし合える体制を築ける



社内の仕組み、風土づくりに力を入れる塚本雄一郎社長。

ようにしたいと思った」という。また、結婚記念日の前後1カ月前に食事手当を上限1万円で支給したり、家族も参加できるパーベキユ一大会を開催したりして、家族との時間を大切にする機運の醸成にも努めている。

塚本社長は「最終的に会社も社員も家族も満足することが大切。士が良ければ種は育つ。業績をしつかり伸ばし、実がなることで制度という器も生きてくる」と話し、社内の風土づくりにも気を配る。